

焼却灰等の放射能濃度測定結果

表1 主灰の放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	主灰又は流動床不燃物			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
港清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
北清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
品川清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
目黒清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
大田清掃工場	9月29日	不検出	75	87	162
多摩川清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
世田谷清掃工場 ※2	(10月上旬 採取)		(分析中)		
千歳清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
渋谷清掃工場 ※2	(10月上旬 採取)		(分析中)		
杉並清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
豊島清掃工場 ※2	(10月上旬 採取)		(分析中)		
板橋清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
光が丘清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
墨田清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
新江東清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
有明清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
足立清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
葛飾清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
江戸川清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
中防灰溶融施設 ※3					
破碎ごみ処理施設 ※2	(11月上旬 採取予定)				

※1 使用測定器: セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 流動床式焼却炉であり、主灰が発生しない施設であるため、測定結果には流動床不燃物の測定値を記載しています。

※3 主灰が発生しない溶融処理施設であるため、測定していません。

※4 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

(平成23年10月17日 HP掲載)

表2 飛灰の放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	飛灰			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	9月29日	不検出	1,240	1,400	2,640
港清掃工場	9月26日	不検出	1,410	1,660	3,070
北清掃工場	9月30日	171	1,320	1,550	2,870
品川清掃工場	9月28日	不検出	964	1,130	2,094
目黒清掃工場	9月28日	不検出	1,870	2,130	4,000
大田清掃工場	9月29日	不検出	2,570	3,160	5,730
多摩川清掃工場	9月30日	不検出	1,130	1,430	2,560
世田谷清掃工場	9月30日	不検出	1,730	2,040	3,770
千歳清掃工場	9月27日	不検出	1,420	1,620	3,040
渋谷清掃工場	9月26日	不検出	620	744	1,364
杉並清掃工場	9月27日	不検出	1,710	1,970	3,680
豊島清掃工場	9月27日	不検出	665	860	1,525
板橋清掃工場	9月27日	不検出	1,220	1,390	2,610
光が丘清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
墨田清掃工場	9月30日	不検出	1,840	2,140	3,980
新江東清掃工場	9月29日	不検出	1,580	1,860	3,440
有明清掃工場	9月29日	不検出	1,330	1,590	2,920
足立清掃工場	9月28日	不検出	2,000	2,440	4,440
葛飾清掃工場	9月30日	不検出	2,350	2,710	5,060
江戸川清掃工場	9月30日	不検出	5,680	6,710	12,390
中防灰溶融施設 ※3					
破碎ごみ処理施設	9月29日	不検出	253	306	559

※1 使用測定器: セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 「—」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 飛灰が発生しない溶融処理施設であるため、測定していません。

※4 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※5 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。その後、7月2日付けの環境省からの追加説明により、飛灰についての基準は、今後は実際に埋め立てられる飛灰処理汚泥(飛灰を薬剤処理したもの)に対して適用されることとなりました。また、飛灰については、参考のため測定を行います。

(平成23年10月17日 HP掲載)

表3 飛灰処理汚泥の放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	飛灰処理汚泥			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	9月29日	不検出	748	859	1,607
港清掃工場	9月26日	不検出	1,480	1,770	3,250
北清掃工場 ※3					
品川清掃工場	9月28日	不検出	588	687	1,275
目黒清掃工場 ※3					
大田清掃工場	9月29日	不検出	1,320	1,590	2,910
多摩川清掃工場	9月30日	不検出	582	697	1,279
世田谷清掃工場	9月30日	不検出	1,190	1,460	2,650
千歳清掃工場 ※3					
渋谷清掃工場 ※3					
杉並清掃工場	9月27日	不検出	1,310	1,550	2,860
豊島清掃工場	9月27日	不検出	535	624	1,159
板橋清掃工場	9月27日	不検出	802	914	1,716
光が丘清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
墨田清掃工場 ※3					
新江東清掃工場	9月29日	不検出	1,140	1,380	2,520
有明清掃工場	9月29日	不検出	1,030	1,240	2,270
足立清掃工場	9月28日	不検出	1,480	1,740	3,220
葛飾清掃工場	9月30日	不検出	2,330	2,750	5,080
江戸川清掃工場	9月30日	不検出	4,420	5,280	9,700
中防灰溶融施設 ※4	9月29日	不検出	1,050	1,220	2,270
破碎ごみ処理施設	9月29日	不検出	196	241	437

※1 使用測定器: セイコー・イーザーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 「—」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 他工場で飛灰の処理を行っているため測定していません。

※4 他工場の飛灰を受入れて処理したものの値です。

※5 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※6 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。その後、7月2日付けの環境省からの追加説明により、飛灰についての基準は、今後は実際に埋め立てられる飛灰処理汚泥(飛灰を薬剤処理したもの)に対して適用されることとなりました。また、飛灰については、参考のため測定を行います。

(平成23年10月17日 HP掲載)

表4 溶融飛灰、溶融飛灰処理汚泥及びスラグの放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位:Bq/kg

施設名	試料 採取日	溶融飛灰			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
品川清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
多摩川清掃工場	10月3日	不検出	1,160	1,390	2,550
世田谷清掃工場	9月28日	不検出	1,630	1,850	3,480
板橋清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
足立清掃工場 ※2	－	－	－	－	－
葛飾清掃工場 ※2	－	－	－	－	－
中防灰溶融施設	9月29日	不検出	639	791	1,430

施設名		溶融飛灰処理汚泥			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
品川清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
多摩川清掃工場	10月3日	不検出	1,370	1,640	3,010
世田谷清掃工場	9月29日	不検出	689	792	1,481
板橋清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
足立清掃工場 ※2	－	－	－	－	－
葛飾清掃工場 ※2	－	－	－	－	－
中防灰溶融施設	9月29日	不検出	779	945	1,724

施設名		スラグ			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
品川清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
多摩川清掃工場	10月3日	不検出	39	50	89
世田谷清掃工場(溶融)	9月28日	不検出	38	33	71
世田谷清掃工場(ガス化)	9月30日	不検出	26	34	60
板橋清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
足立清掃工場 ※2	－	－	－	－	－
葛飾清掃工場 ※2	－	－	－	－	－
中防灰溶融施設	9月29日	不検出	46	49	95

※1 使用測定器:セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 「－」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※4 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。その後、7月2日付けの環境省からの追加説明により、飛灰についての基準は、今後は実際に埋め立てられる飛灰処理汚泥(飛灰を薬剤処理したもの)に対して適用されます。溶融飛灰処理汚泥についても飛灰処理汚泥と同様に扱います。また、溶融飛灰については、参考のため測定を行います。

※5 現在製造しているスラグは、一般には提供していません。また、現在、一般に提供しているものは、平成23年3月11日以前に製造したものです。

(平成23年10月17日 HP掲載)

表5 汚水処理汚泥の放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位:Bq/kg

施設名	試料 採取日	汚水処理汚泥			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
港清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
北清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
品川清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
目黒清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
大田清掃工場	9月29日	不検出	15	19	34
多摩川清掃工場	9月28日	不検出	34	29	63
世田谷清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
千歳清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
渋谷清掃工場 ※2					
杉並清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
豊島清掃工場 ※2					
板橋清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
光が丘清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
墨田清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
新江東清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
有明清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
足立清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
葛飾清掃工場	(10月下旬 採取予定)				
江戸川清掃工場	(10月上旬 採取)		(分析中)		
中防灰溶融施設	9月29日	不検出	85	99	184
破碎ごみ処理施設 ※2					

※1 使用測定器:セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 汚水処理汚泥を工場内で処理して埋立てを行わないため、測定していません。

※3 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※4 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。

当組合では、この通知で言及されていない汚水処理汚泥についても、焼却灰及び飛灰と同じ取扱いをいたします。